

価値創造モデル

この星に、たしかな未来を

Our Technologies, Your Tomorrow



私たちは、CIステートメントに込めた強い思いをもって、世界で存在感のある企業への発展に向かって挑戦してまいります。そのために私たちは、これまで培ってきた技術を磨くとともに、新たな発想で様々な技術を融合させるなど、さらなる価値提供を追求し、地球的な視野で人類の課題の解決と夢の実現に取り組みます。

社会的課題解決による企業価値の向上

▶ P 24

社是

- 1 顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する
- 2 誠実を旨とし、和を重んじて公私の別を明らかにする
- 3 世界的視野に立ち、経営の革新と技術の開発に努める

社是制定趣旨

当社の発祥は遠く明治3年(1870年)にさかのぼるが、当社の今日あるのはひとえに創業者岩崎彌太郎を始め歴代の経営者、従業員のたゆまぬ努力の所産である。これら諸先人の残された数々の教訓は今なお我々の脳裡に刻まれているが、今これらの先訓を思い起こし、当社の将来への一層の飛躍に備え、伝統ある当社にふさわしい社是を制定せんとするものである。

このたびの社是の文言は直接には第四代社長岩崎小彌太の三綱領「所期奉公、処事光明、立業貿易」の発想に基づくものであるが、さらにこれを会社の基本的態度、従業員のあるべき心構えそしてまた将来会社の指向すべき方向をこの三つの観点から簡明に表現したものである。時あたかも三菱創業百年を迎え、激動する70年代の幕開けに際し、当社は時勢に応じ、絶えず新しい意欲を持って前進したいと思う。ここに新たな感覚を盛込んだ社是を制定する所以である。
(1970年6月1日)

CSR行動指針

わたしたちは、この地球にたしかな未来を実現するために、

地球との絆

緑あふれる地球を環境技術と環境意識で守ります。

社会との絆

積極的な社会参画と、誠実な行動により、社会との信頼関係を築きます。

次世代への架け橋

夢を実現する技術で、次世代を担う人の育成に貢献します。

社是とCIステートメント「この星に、たしかな未来を」をもとに、当社グループの全社員がCSRの理念を踏まえて事業活動を行う際の共通の心構えとなる「CSR行動指針」を制定しています。

主な資本

130年にわたる技術基盤の蓄積



1884

1910

1940

1970

2000

2014



A: 我が国初の鉄製汽船「夕顔丸」建造(1887年) B: 三菱A型乗用車製作(1918年) C: 零式艦上戦闘機製作(1939年) D: 世界最大級コンバインド発電プラント「東北電力、東新潟3号機第二系列545,000kW」完成(1985年) E: H-Iロケット初号機打上げ成功(1986年) F: マレーシア向けCO₂回収装置引渡し(1999年) G: 世界最高効率のJ形ガスタービンが実証運転で世界最高のタービン入口温度1,600°Cを達成(2011年)

1880年～1945年

造船業をベースに輸送インフラを製造

工部省長崎造船局を借り受けてスタートした三菱重工のものづくり。日本初の鉄製汽船や戦艦などを建造しながら、そこで培った技術や知識を活かし、自動車、航空機の製作を開始。総合的な輸送機器メーカーとして、事業の裾野を広げていきました。世界情勢の不安と緊張の高まりにつれ、当時の世界水準を超える技術は軍需へ転用されていく時代を迎えます。

1946年～1963年

戦後復興を支える民生品の世界へ

終戦後は、国策による軍需製品から、スクーターやエアコンなど、さまざまな民生品の開発・製造に軸足を移していきました。1950年、GHQの財閥解体方針により当社は3つに分割されると製品規模も多様化し、3社が競合する状況が生まれます。しかしその技術競争が、重厚長大産業のリーディングカンパニーへの礎となっていきます。

1964年～1990年

3重工合併により、大規模開発事業へ

東京オリンピックが開催された1964年、3つに分割されていた重工業のグループ企業が再度合併し、現在の三菱重工のスタイルとなりました。取り扱う製品も石油掘削リグ、発電プラント、タンカー、橋梁など、陸・海・空のフィールドへ広がっていきます。また、この頃H-Iロケット打上げが成功し、本格的な宇宙開発への参入が始まりました。

1991年～

持続可能な社会を支える、総合インフラ企業へ

世界的に環境保全の気運が高まり「エコロジー」という概念が一般化する中、ガスタービン、エコシップなど、常に高効率を求めてきた三菱重工の技術・製品はそのフィールドを地球規模でますます拡大。総合インフラ企業として、「持続可能な社会」を支える技術・製品の開発に取り組んでいます。

財務資本 (資金)

製造資本 (建物、設備、インフラ)

知的資本 (特許権、ライセンス、システム、ノウハウ)

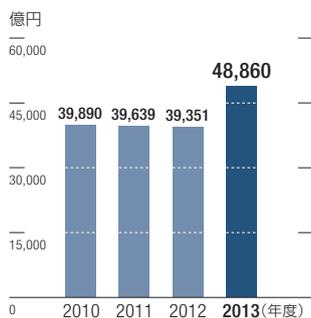
人的資本 (従業員と組織、その能力や経験)

社会関係資本 (さまざまなステークホルダー、自然環境)

Input

財務資本

総資産



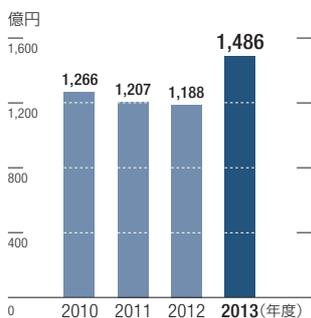
財務資本

純資産 / 自己資本比率



製造資本

設備投資額



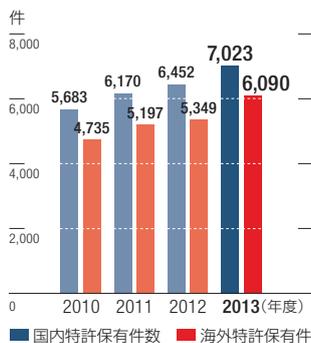
知的資本

研究開発費 / 対売上高比率



知的資本

特許保有件数



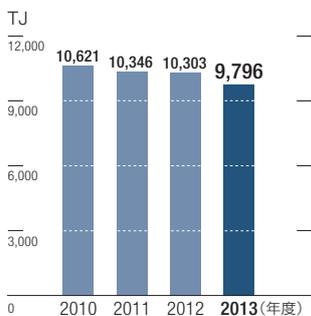
人的資本

従業員数 / 海外人員比率



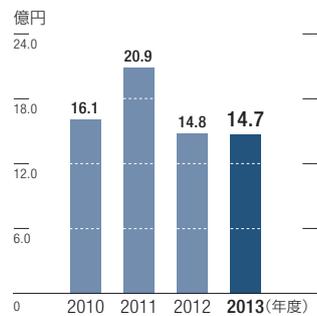
社会関係資本

エネルギー投入量



社会関係資本

社会貢献支出額



※ 原則、三菱重工業(株)単体 (生産工場+オフィス部門)

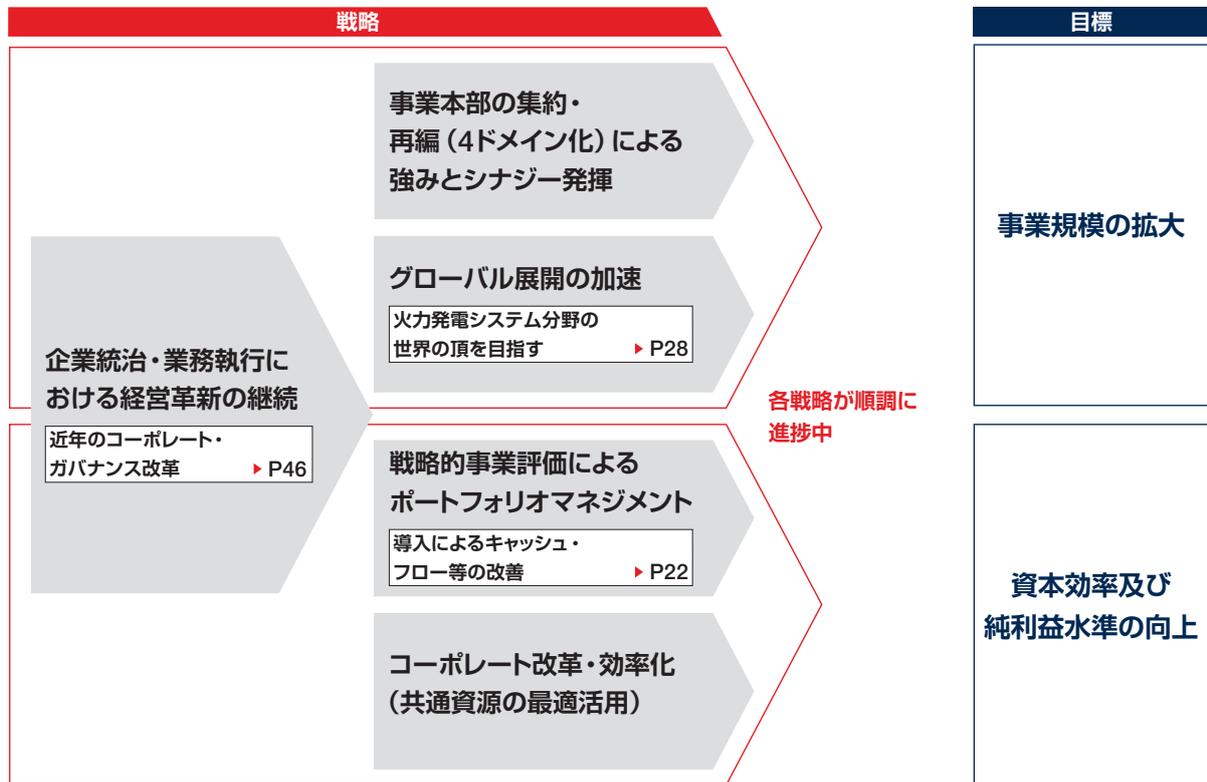
事業活動



事業計画の推進

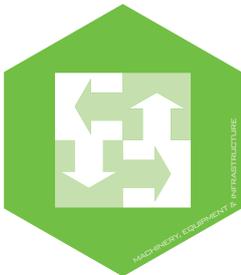
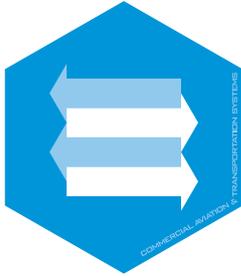
当社は、「2012事業計画」を着実に推進しており、次期事業計画でさらなる飛躍を目指します。 社長インタビュー ▶ P16

2012事業計画





4つの事業ドメイン セグメント別営業概況 ▶ P26

<p>機械・設備システム</p> <p>工作機械、物流機器、空調・冷凍機器、橋梁など、社会・産業を支える広範なサービスを提供。ものづくり企業としての高い技術力と、広大なビジネス領域を活かし、人と人、企業と企業、そして現在と未来をつないでいきます。</p> 	<p>エネルギー・環境</p> <p>火力、原子力、再生可能エネルギーなどのエネルギー分野と、水処理、排煙処理といった環境分野、そして化学プラントなどの産業インフラでの最適なソリューションを提供。社会を支える大規模インフラ事業を融合することで、未来へのあらたな活力をうみだします。</p> 
<p>防衛・宇宙</p> <p>艦艇、防衛航空機、ロケット、特殊車両などの陸・海・空・宇宙の統合防衛システムと、宇宙関連サービスを提供。防衛・宇宙の各事業で培ってきた技術で高付加価値の製品を供給し、この国の、この星の安心をみまもります。</p> 	<p>交通・輸送</p> <p>民間航空機、商船、交通システムなど、陸・海・空を舞台に先進的な交通・輸送システムを提供。技術に裏打ちされた高い安全性とたしかな品質・信頼性で、現代社会の交通・物流インフラを支え、社会をうごかしています。</p> 

価値の創造

Output

エネルギー・環境

交通・輸送

防衛・宇宙

機械・設備システム

お客さま

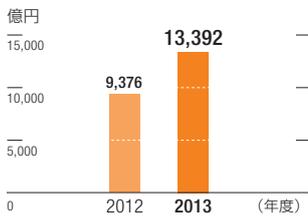
幅広いお客さまに対して、「安全と品質」を最優先に、製品・サービスを提供しています。

製品の使用

高効率で環境性能の高い当社の製品が使用されることで、お客さまのコスト削減や環境負荷の低減を実現しながら、社会や産業基盤を支えています。

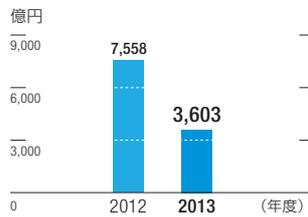
エネルギー・環境

受注高



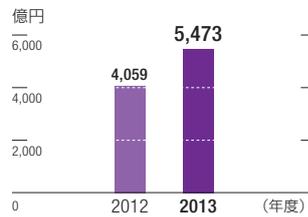
交通・輸送

受注高



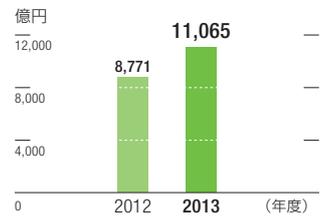
防衛・宇宙

受注高

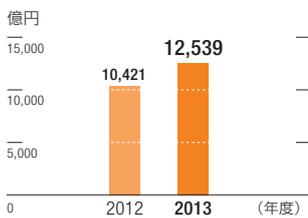


機械・設備システム

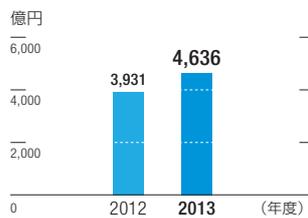
受注高



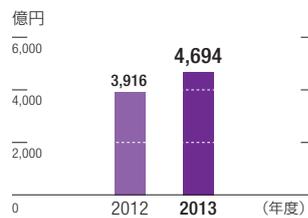
売上高



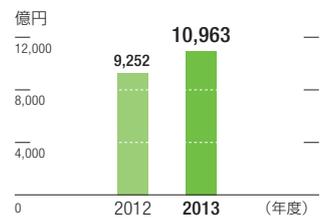
売上高



売上高



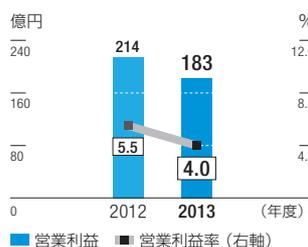
売上高



営業利益 / 営業利益率



営業利益 / 営業利益率



営業利益 / 営業利益率



営業利益 / 営業利益率



2020

Outcome

(2013年度)

ROE

11.0%

配当金支払額

301億円

当社製品使用によるCO₂削減量
(対 1990年度)

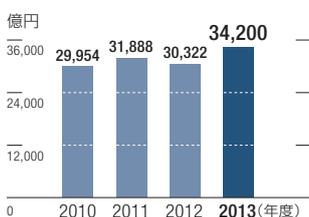
約0.3億トン

新規採用および定年後の雇用延長者数

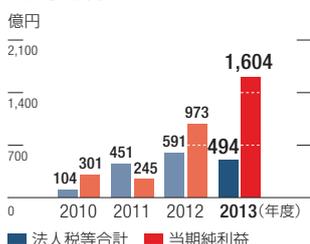
2,942人

三菱重工業(株)および連結子会社

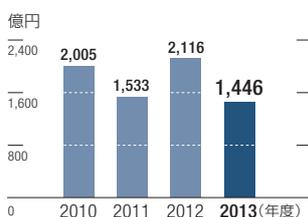
受注高



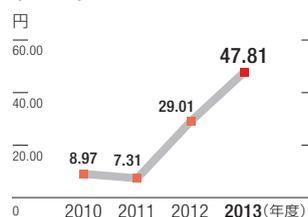
法人税等合計 / 当期純利益



フリーキャッシュ・フロー



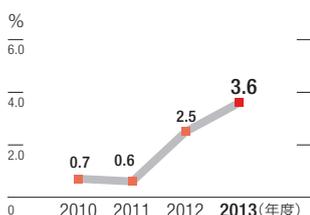
1株当たり当期純利益 (EPS)



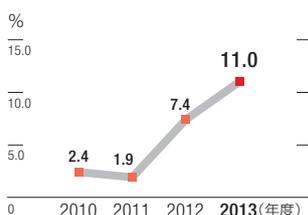
売上高 / 海外売上高比率



総資産利益率 (ROA)



自己資本利益率 (ROE)



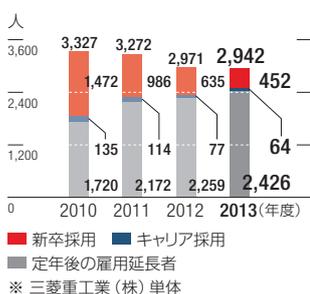
1株当たり配当金 / 配当性向



営業利益 / 営業利益率



新規採用および定年後の雇用延長者数



労働災害度数率



温室効果ガス (CO₂) 排出量



Outcome

※ 三菱重工業(株)単体 (連結範囲の約50%と推定)

※ 原則、三菱重工業(株)単体生産工場